

今回の選曲について解説します。

2012・9・11 (R3)

今回の選曲は 【信長貴富セレクション】、と称して

『くちびるに歌を』（2005年作品）から

I 白い雲(4分)、IVくちびるに歌を(8分)の 2曲抜粋と

歌おう NIPPON プロジェクト から『 ワクワク 』（5分）（2011年作品）の

計3曲の信長作品、17～8分の演奏時間のステージを考えています。（各団20分以内が目安）

1、男声合唱とピアノのための『くちびるに歌を』は、東海メールクワイアーの2005年委嘱作品、

信長氏は作曲に際し「自分の中のロマンチックな部分を迷うことなく表現してみたい(中略)・・・」と自身の気に入ったドイツの名詩をピックアップし、テキストは独語と日本語訳の交錯形式を取った形で書かれています。組曲としては4曲構成ですが、各曲は詩の関連性はなく、抜粋して演奏しても特に問題はありません。ちなみに、Iの詩はヘルマン・ヘッセ、IVはツエーザー・フライシュレンです。

平易で大変美しいメロディラインに独語と日本語のテキストが効果的に配置されているのが特徴で、調性の変化もあまりなく、とても歌い易い曲に仕上がっています。

IVの「くちびるに歌を」は、山本有三の翻訳詩で有名な、「いつも心に太陽を、くちびるに歌をもて」の原詩版で、東日本大震災後、復興支援的な曲として全国の男声合唱団で良く歌われるようになりました。

2、「ワクワク」、は、「歌おう NIPPON」プロジェクト～東日本大震災の被災者の皆様に～ としてカワイ楽譜出版の HP から、無料でダウンロードできる曲集の中の一曲です。

ご存知の方も多いかと思いますが、この「歌おうNIPPON」プロジェクトは、震災後、カワイ出版が中心となって、国内の作曲家、作詞家、編曲家に働きかけて、混声、女声、男声の合唱曲を書いてもらい、それらの曲を全国の合唱団に無料で楽譜を提供し歌ってもらおう！。歌声によって震災被災者にエールを送ろう！、という 全国的なプロジェクトです。

「ワクワク」は、何曲かある男声曲の中の1曲で、詩は谷川俊太郎、「うつむく青年」より。ピアノ伴奏付きの、非常にシンプルで軽快な曲です。ユーモラスで身につまされる歌詞が軽妙で、若者だけでなく中高年でも最高に楽しめる、という点で選曲しました。ちなみに「ワクワク」という題名は、「ワクワクする気持ち」の、ワクワクです。

3、今回の四大OBジョイントは、全体テーマとして、震災復興支援『いまこそ歌を・第2弾』というテーマが確認されています。

今回の選曲は、それに沿ったカタチで復興への我々東北大男声OB会の応援メッセージとして、ホスト合唱団としても相応しいのではないかな、という思いで取り上げています。

今回は、現役も含めた仙台との合同という点からも、出来るだけ歌いやすく練習しやすい曲で、あまりOB会で取り上げられていない、最近作曲された新しい邦人男声合唱曲、という選曲でもあります。（これらの曲はむしろ現役諸君にこそ歌って欲しい、という思いもあります）合唱の原点に立ち返り、旋律の美しさや透明なハーモニー、音楽の流れをしっかりと捉えた男声合唱を再度構築してみる、そういった狙いの音楽が出来るという意味でも、格好のテキストではないかな、とも思います。

以上

須田信男（52卒東京OB会）

（信長貴富 略歴）

1994年上智大文学部教育学科卒。

94、95、98年朝日作曲賞、98年日本歌曲コンクール作曲部門1位、2000年現音作曲新人賞、2001日本音楽コンクール作曲部門2位など多数受賞。学生時代は上智大混声合唱団に所属。

歌いやすい美しいメロディの曲が多いのが特徴。ここ数年、児童合唱から、中高生、大学生、一般、お母さんまで、日本中の合唱団にレパとして取り上げられる事が多く、いまやダントツ人気No1の

若手作曲家。ポップスの編曲も多い。

男声合唱曲は、新しい歌、ノスタルジア、初心の歌、宮崎アニメ曲集I・II、カーボーイポップ、くちびるに歌を、起点、ラグビー、ワクワクなど。